

令和7年度 清瀬市消費生活センター事業計画

1. 予算

(単位：千円)

事業費	令和7年度	令和6年度
	4,084	3,288

※ 令和7年度は要求額

主な内訳

(単位：千円)

予算科目		予算額	内容
報償費	謝礼	210	講師謝礼等
需用費	消耗品費	710	啓発グッズ等
	印刷製本費	629	「ちえのわ」「相談事例集」等
委託費	相談等	264	アドバイザー弁護士契約
	配布等	284	「ちえのわ」全戸配布
備品購入費	機械器具等	632	PI0-NETシステム用端末購入
負担金、 補助及び交付金	補助金	1,025	登録消費者団体連絡会 自動通話録音機能付電話機等購入費補助金

2. 事業内容

【消費生活相談】

相談時間	受付方法
月曜日～金曜日 10時～12時・13時～16時	来所または電話

【消費生活講座】

開催時期・回数	定員	内 容
6月～2月・年10回程度	各40名程度	・終活講座 ・夏休み子ども講座 など

予算要求額：謝礼 120千円

【出前講座】

依頼があった際に、都度実施していく。

【広報誌「ちえのわ」の発行】

発行月	発 行 物	発行部数（部）
6月	消費生活センターだより「ちえのわ」No. 110	2,000
9月	消費生活センターだより「ちえのわ」No. 111 「高齢者見守り特集号」市内全戸配布	37,000
12月	消費生活センターだより「ちえのわ」No. 112	2,000
3月	消費生活センターだより「ちえのわ」No. 113	2,000

予算要求額：印刷製本費 276千円
配布等 284千円

【相談員の講師派遣】

派遣依頼元	講座等の内容	実施時期
【共催】 清瀬市介護保険課地域包括ケア係 きよせ社協地域包括支援センター きよせ信愛地域包括支援センター きよせ清雅地域包括支援センター	清瀬市高齢者ふれあい ネットワーク事業 高齢者見守り講座	例年10月頃に実施 各地域包括センターとの共催事業 のため、介護保険課地域包括ケア 係と内容について調整する。

【「消費生活の現場から」市報掲載】

市報の毎月1日号に、実際に受け付けた事例とアドバイスを掲載していく。

【消費生活相談事例集の発行】

発行月	発行物	発行部数 (部)
3月	消費生活相談事例集	300

予算要求額：印刷製本費 199千円

【自動通話録音機能付電話機等購入費補助金】

事業の目的	対象者	補助額
電話勧誘による、高齢者の消費者被害 未然防止を目的として、防犯機能のつ いた電話機や自動通話録音機等を購 入・設置した世帯に対して機器購入費 の一部を助成する。	65歳以上の市民 及び、同居の方	購入費の4分の3 (上限額1万円)

予算要求額：補助金 1,000千円

【第46回 清瀬市消費生活展】

事業の目的	開催日時・実施内容	主催
消費者団体の活動内容の紹介や、 成果発表の場を設けると共に、消 費者問題についての啓発を広く市 民に向けて行うことを目的として いる。	開催日：令和7年11月8日（土）予定 会場：アミューホール テーマ：未定 内容：未定	清瀬市登録消費者団体連絡会 清瀬市消費生活センター

【清瀬くらしのハンドブックの発行】

発行月	発行物	発行部数 (部)
10月	清瀬くらしのハンドブック	500

予算要求額：印刷製本費 100千円

【グループ活動室の利用提供】

利用日の区分	午前	午後	夜間
年末年始以外の火曜～日曜	9時～12時	13時～17時	18時～22時
祝日以外の月曜日	9時～12時	13時～17時	利用不可